

II 調査の結果

1 人権に関する考え方について

(1) 人権に関する考え方

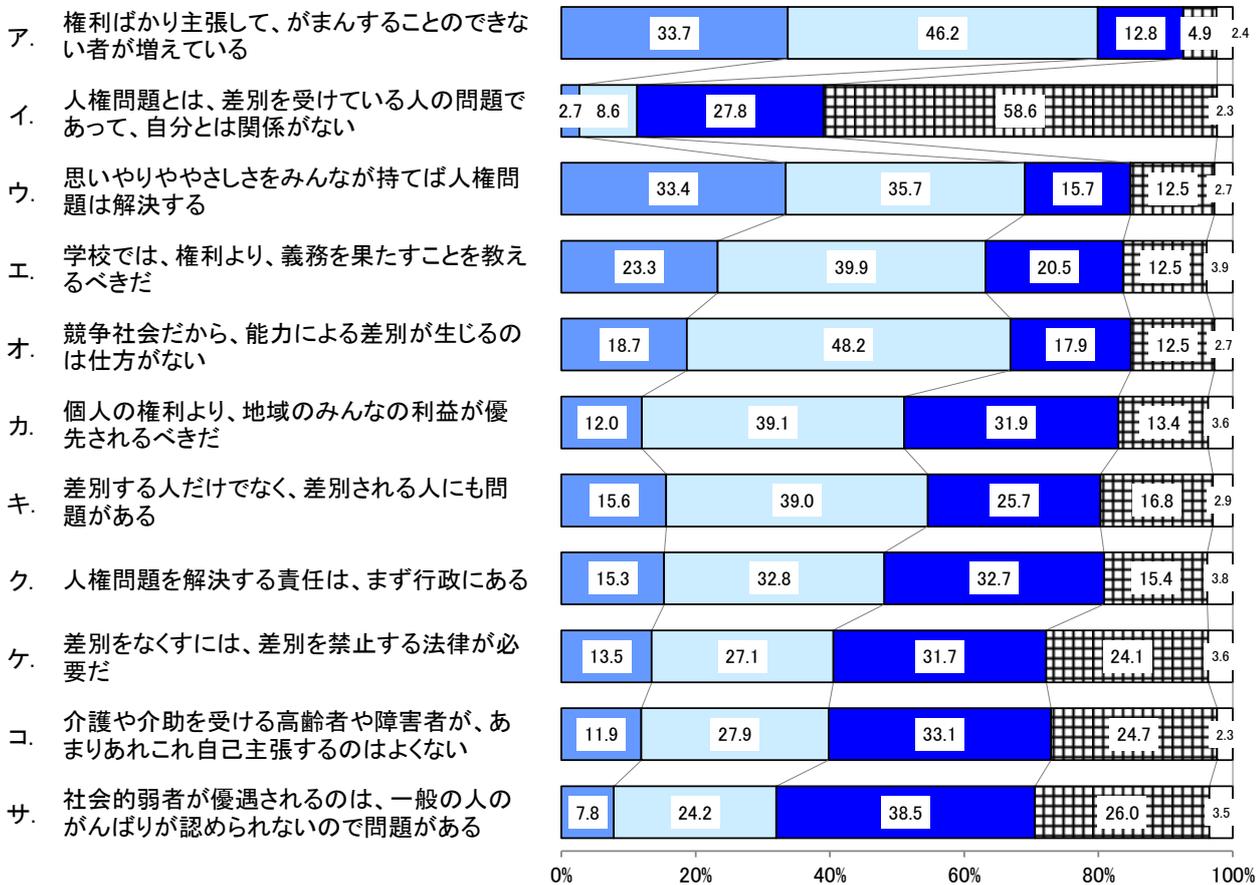
問1 人権について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのように思われますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

【図表 1-1 人権に関する考え方】

(N=1,293)

■ そう思う
 □ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえばそう思わない
 □ そう思わない
 □ 無回答



人権に関する考え方として、“肯定派”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた数）が“否定派”（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた数）に比べて高い項目は、「ア. 権利ばかり主張して、がまんすることのできない者が増えている」（79.9%）、「ウ. 思いやりやさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」（69.1%）、「エ. 学校では、権利より、義務を果たすことを教えるべきだ」（63.2%）、「オ. 競争社会だから、能力による差別が生じるのは仕方がない」（66.9%）、「カ. 個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきだ」（51.1%）、「キ. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」（54.6%）となっている。

一方、“否定派”が“肯定派”に比べて高い項目は、「イ. 人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、

自分とは関係がない」(86.4%)、「ケ. 差別をなくすには、差別を禁止する法律が必要だ」(55.8%)、「コ. 介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない」(57.8%)、「サ. 社会的弱者が優遇されるのは、一般の人のがんばりが認められないので問題がある」(64.5%)となっている。

「ク. 人権問題を解決する責任は、まず行政にある」については、“肯定派”と“否定派”が同数となっている。
(図表 1-1)

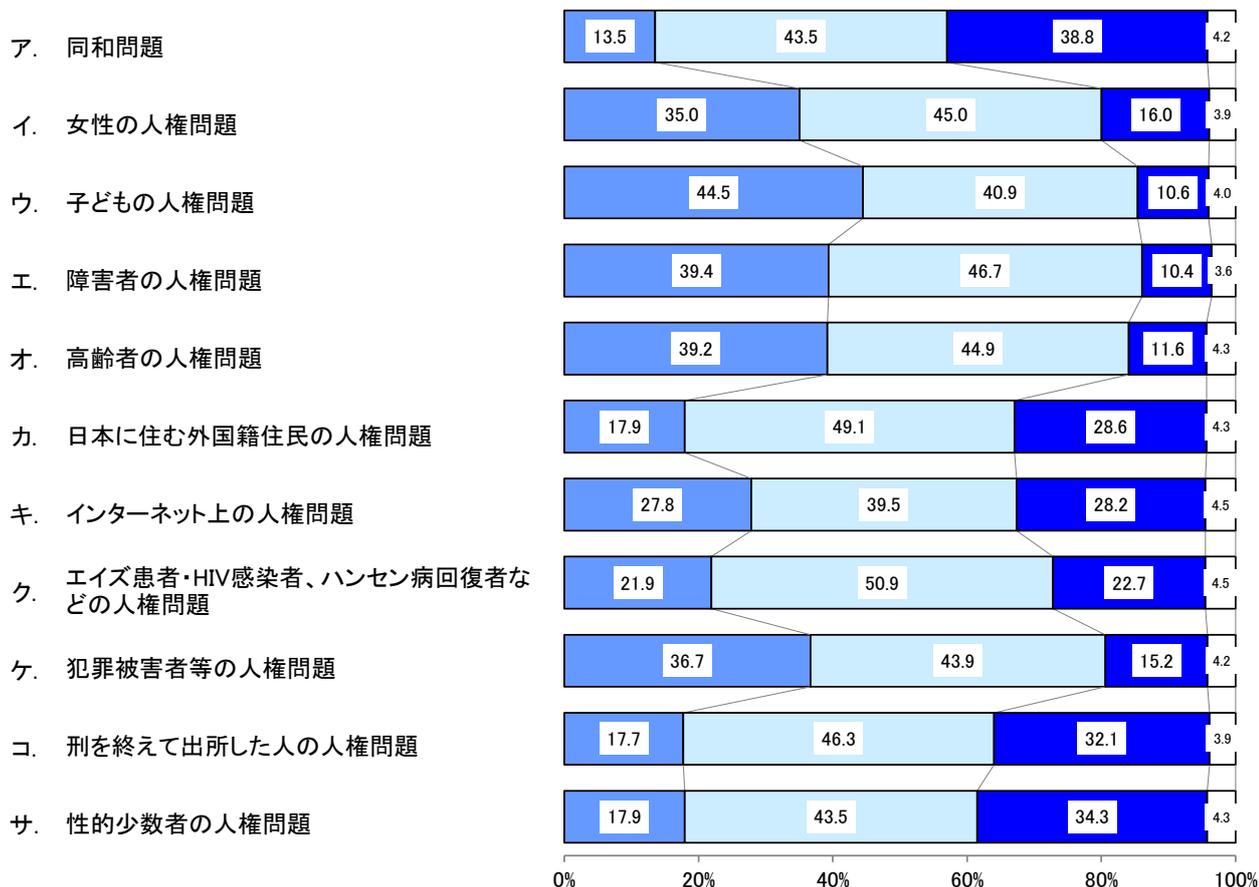
(2) 人権問題への関心

問2 あなたは、次の人権問題に関心がありますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

【図表 1-2 人権問題への関心】

(N=1,293)

■ 関心がある □ 少し関心がある ■ 関心がない □ 無回答

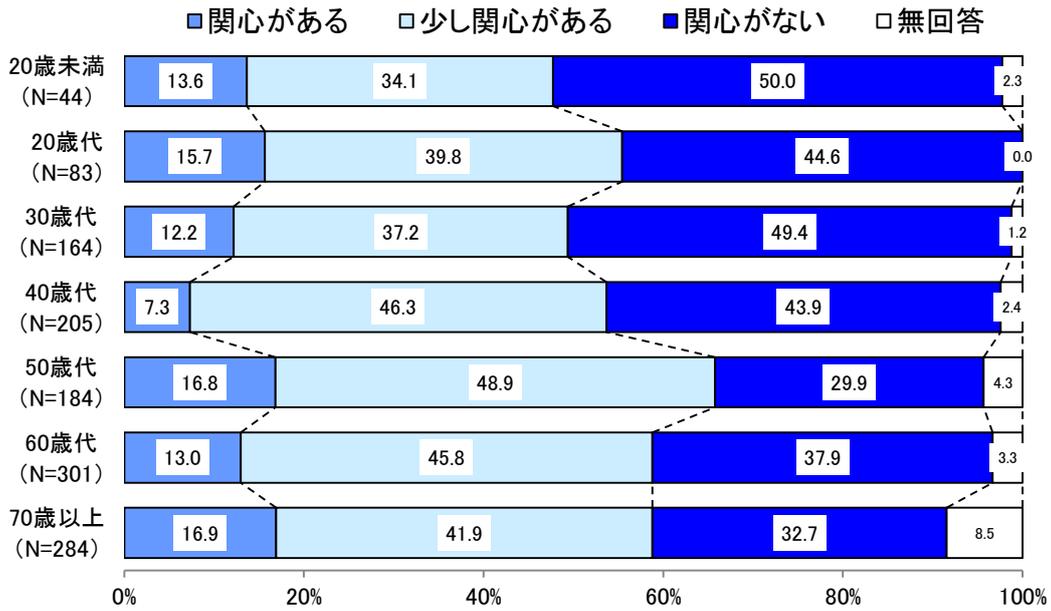


人権問題への関心については、いずれの項目でも“関心がある”（「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた数）が過半数を占めている。

“関心がある”が8割以上の項目は、高い順に、「エ. 障害者の人権問題」（86.1%）、「ウ. 子どもの人権問題」（85.4%）、「オ. 高齢者の人権問題」（84.1%）、「ケ. 犯罪被害者等の人権問題」（80.6%）、「イ. 女性の人権問題」（80.0%）となっている。

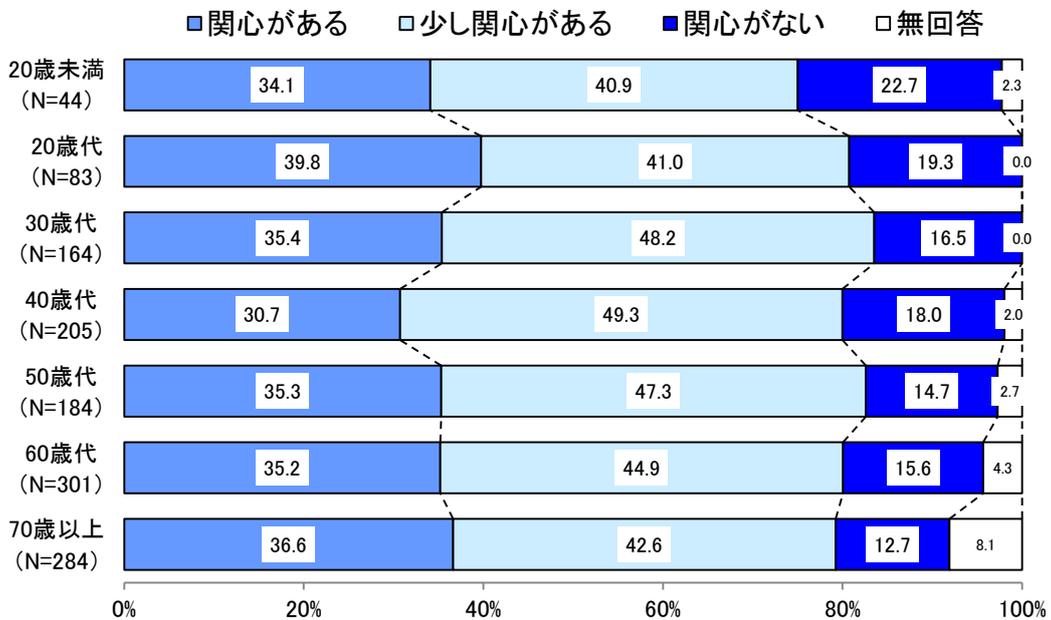
一方、「関心がない」が高い項目は順に、「ア. 同和問題」（38.8%）、「サ. 性的少数者の人権問題」（34.3%）、「コ. 刑を終えて出所した人の人権問題」（32.1%）、「カ. 日本に住む外国籍住民の人権問題」（28.6%）、「キ. インターネット上の人権問題」（28.2%）となっている。（図表 1-2）

【図表 1-2-1 年齢別 ア. 同和問題】



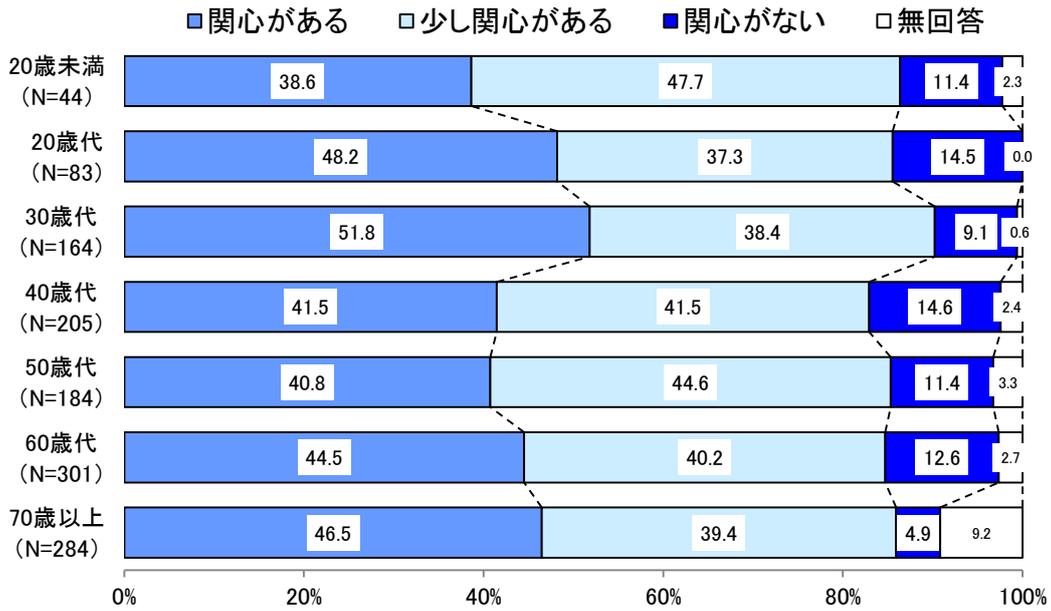
「ア. 同和問題」を年齢別でみると、「関心がある」は20歳未満と30歳代では4割台、20歳代と40歳代、60歳代以上では5割台、50歳代では6割台となっている。(図表 1-2-1)

【図表 1-2-2 年齢別 イ. 女性の人権問題】



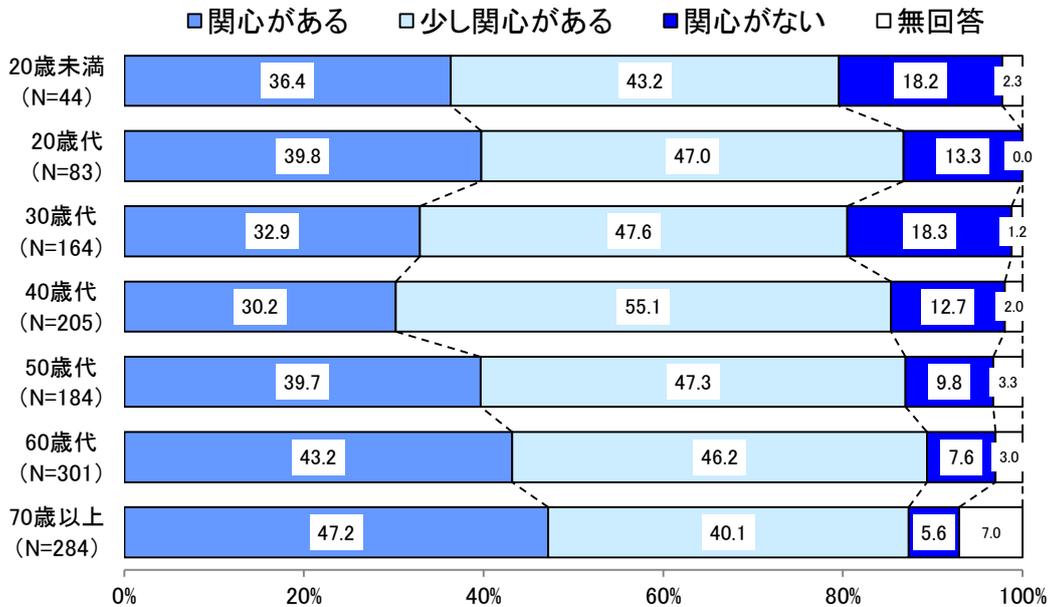
「イ. 女性の人権問題」を年齢別でみると、「関心がある」はいずれの年齢でも約8割となっている。(図表 1-2-2)

【図表 1-2-3 年齢別 ウ. 子どもの人権問題】



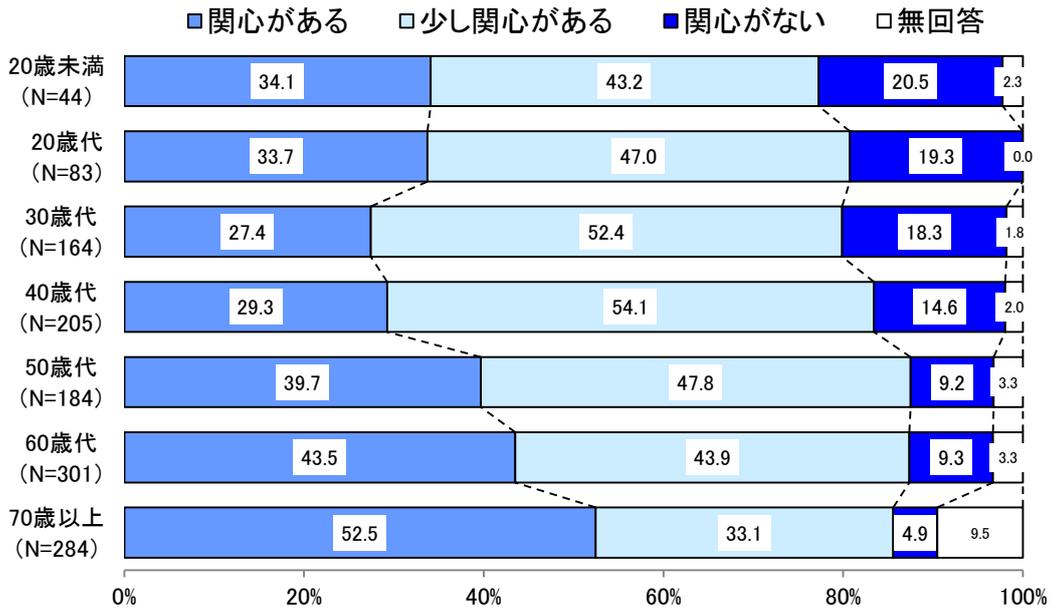
「ウ. 子どもの人権問題」を年齢別でみると、「関心がある」は30歳代では9割台、それ以外の年齢では8割台となっている。(図表 1-2-3)

【図表 1-2-4 年齢別 エ. 障害者の人権問題】



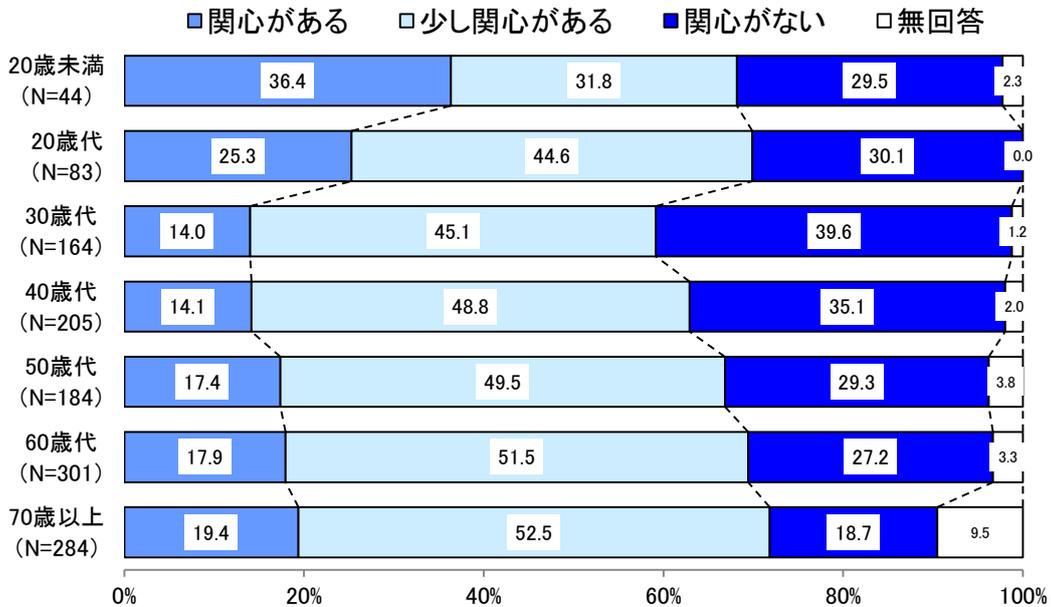
「エ. 障害者の人権問題」を年齢別でみると、いずれの年齢でも「関心がある」が約8~9割となっている。「関心がある」は60歳代以上では4割を超えている。(図表 1-2-4)

【図表 1-2-5 年齢別 オ. 高齢者の人権問題】



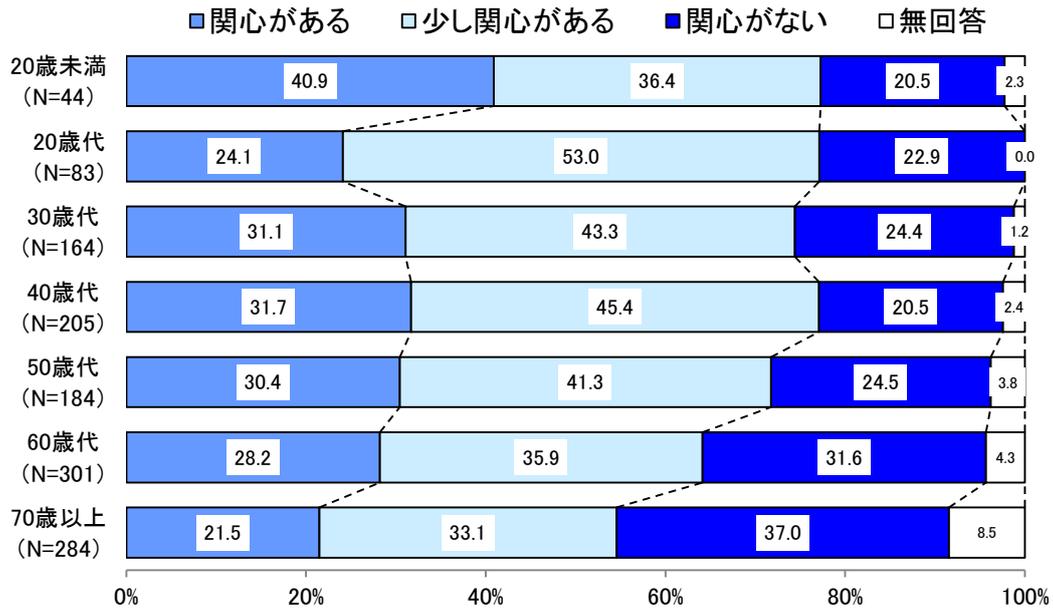
「オ. 高齢者の人権問題」を年齢別で見ると、「興味がある」は40歳代以下では7割台後半～8割台前半、50歳代以上では8割台後半となっている。また「興味がある」は40歳代以下では3割前後だが、50歳代以上から年齢が上がるにつれて割合が高くなり、70歳以上では過半数を占めている。(図表 1-2-5)

【図表 1-2-6 年齢別 カ. 日本に住む外国籍住民の人権問題】



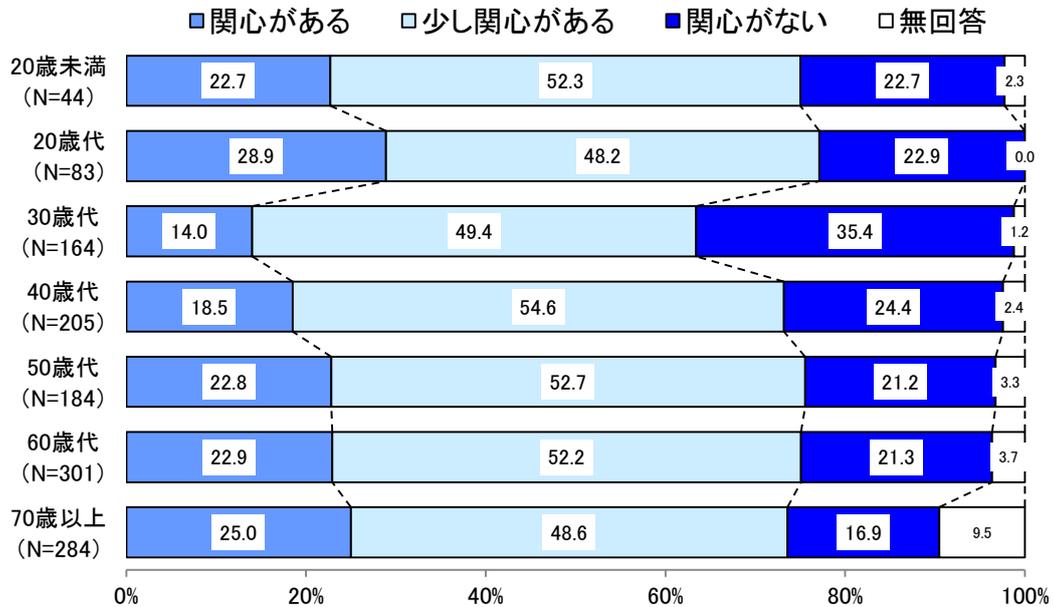
「カ. 日本に住む外国籍住民の人権問題」を年齢別にみると、「興味がある」は30歳代と40歳代では約6割、それ以外の年齢では約7割となっている。「興味がある」は20歳未満では4割近くだが、20歳代では2割あまり、30歳代以上では2割を下回っている。(図表 1-2-6)

【図表 1-2-7 年齢別 キ.インターネット上の人権問題】



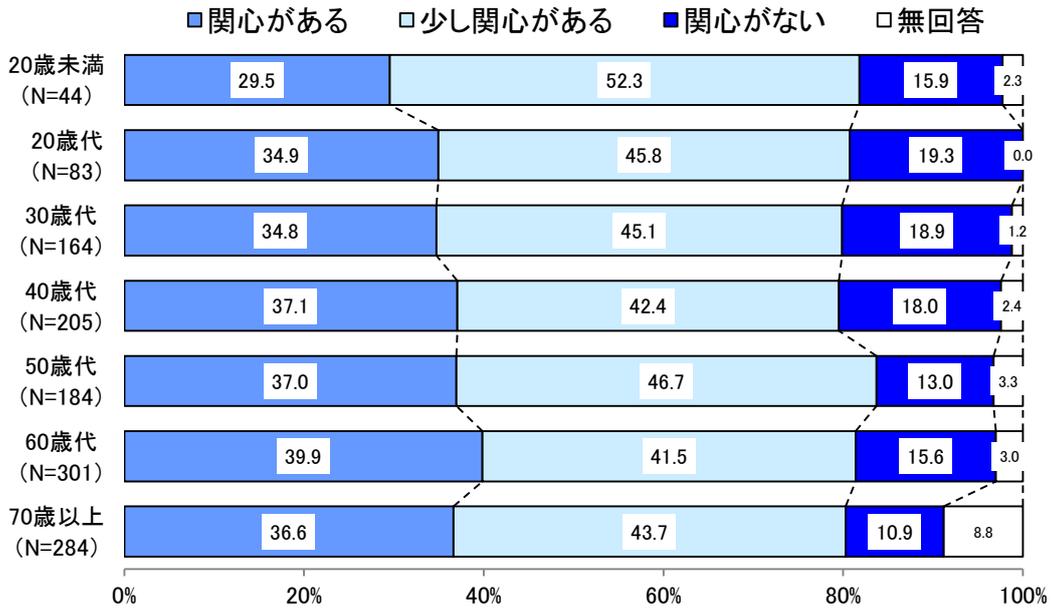
「キ.インターネット上の人権問題」を年齢別で見ると、「興味がある」は50歳代以下では7割台、60歳代では6割台、70歳以上では5割台となっている。20歳未満は「興味がある」が4割を占めている。(図表 1-2-7)

【図表 1-2-8 年齢別 ク.エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病回復者などの人権問題】



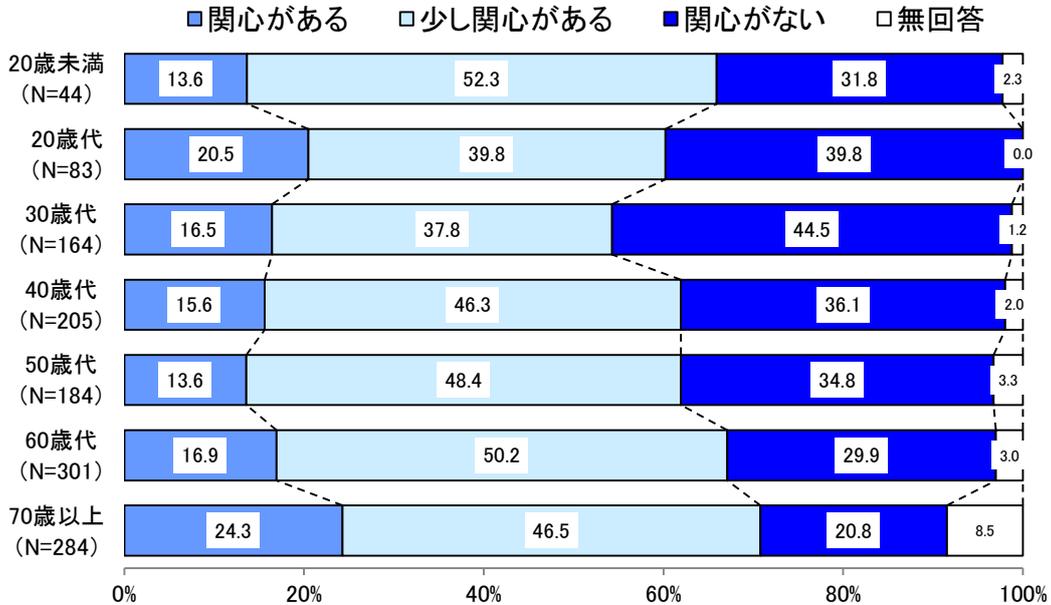
「ク.エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病回復者などの人権問題」を年齢別にみると、「興味がある」は30歳代では6割台、それ以外の年齢では7割台となっている。(図表 1-2-8)

【図表 1-2-9 年齢別 ケ. 犯罪被害者等の人権問題】



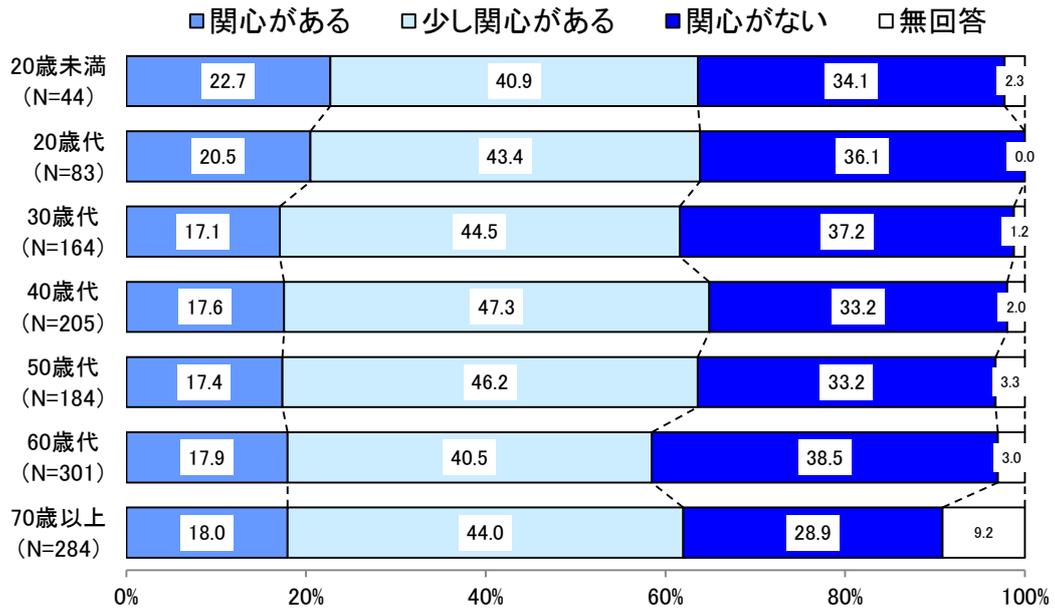
「ケ. 犯罪被害者等の人権問題」を年齢別で見ると、いずれの年齢でも“興味がある”が約8割となっている。(図表 1-2-9)

【図表 1-2-10 年齢別 コ. 刑を終えて出所した人の人権問題】



「コ. 刑を終えて出所した人の人権問題」を年齢別で見ると、“興味がある”は30歳代では5割台、20歳代以下と40歳代~60歳代では6割台、70歳以上では7割台となっている。(図表 1-2-10)

【図表 1-2-11 年齢別 サ. 性的少数者の人権問題】

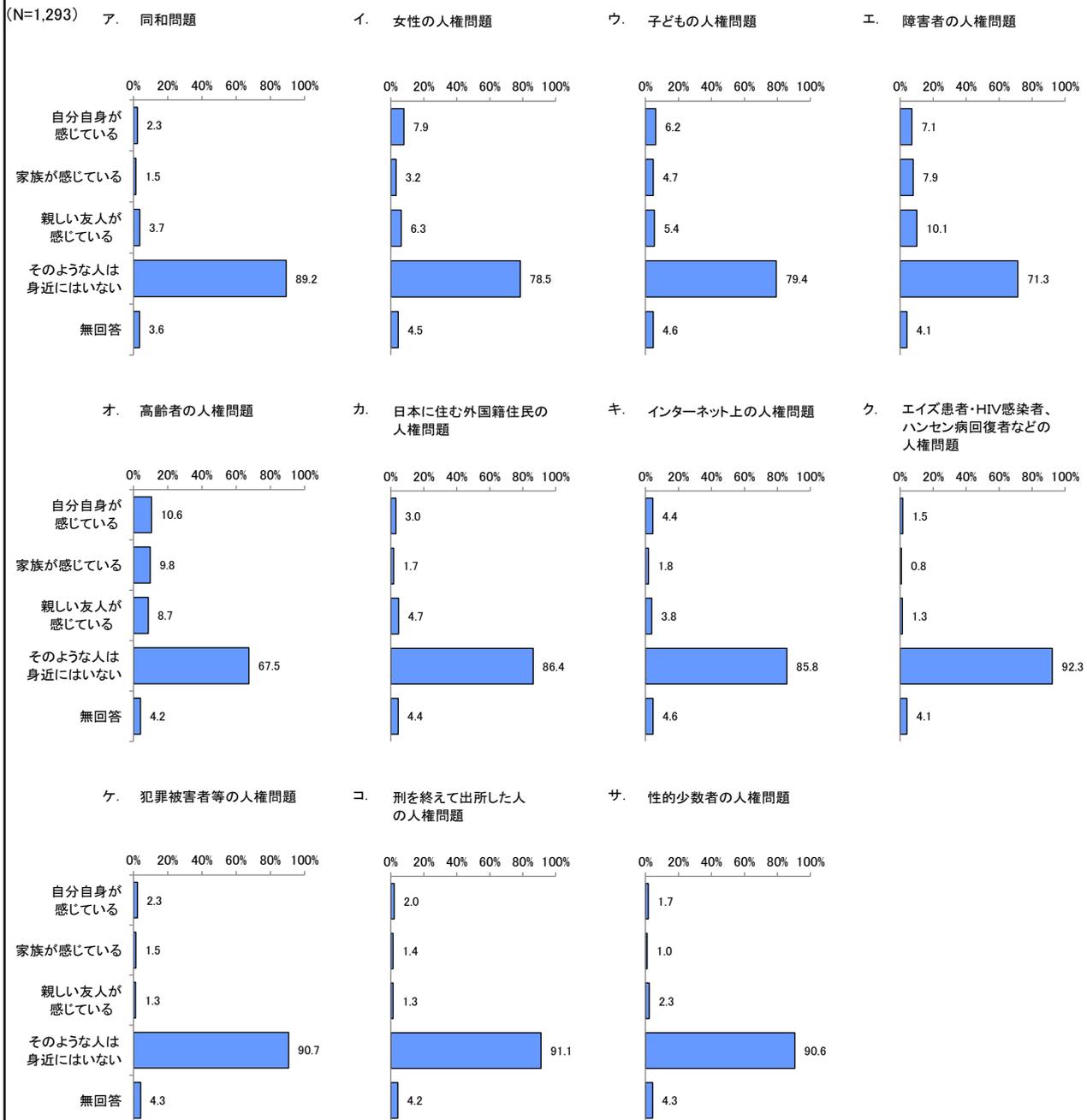


「サ. 性的少数者の人権問題」を年齢別で見ると、いずれの年齢でも“興味がある”が約 6 割となっている。また「興味がある」も年齢別で大きな差はみられない。(図表 1-2-11)

(3) 人権問題で暮らしにくさを感じている人

問3 あなた、もしくはあなたの家族や親しい友人に、次の人権問題で暮らしにくさを感じている人はいますか。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

【図表 1-3 人権問題で暮らしにくさを感じている人】



人権問題で暮らしにくさを感じている人については、いずれの項目でも「そのような人は身近にはいない」が最も高くなっている。

「自分自身が感じている」は「オ. 高齢者の人権問題」が10.6%で最も高く、次いで「イ. 女性の人権問題」が7.9%、「エ. 障害者の人権問題」が7.1%となっている。

「家族が感じている」は「オ. 高齢者の人権問題」が9.8%で最も高く、次いで「エ. 障害者の人権問題」が7.9%、

「ウ.子どもの人権問題」が4.7%となっている。

「親しい友人が感じている」は「エ.障害者の人権問題」が10.1%と最も高く、次いで「オ.高齢者の人権問題」が8.7%、「イ.女性の人権問題」が6.3%となっている。(図表 1-3)